I am Jazz!（ジャズ・スーパー列伝）

ジャズの発展に貢献し、その歴史に名を刻んだ名プレイヤーたち。その人生は、楽器が異なる如く千差万別。このコーナーでは、そんな個性的なジャズマンたちの功績を称え、生き様を紹介することで、より多くの人々にジャズの素晴らしさを伝えていきたい。

Vol. 65
Sun Ra【サン・ラー】
～土星から降臨した宇宙音楽王＆名ジャズ・ミュージシャン！～

Photo : Sun Ra "In Some Far Place: Roma 77" (Strut)

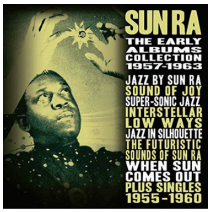
Profile

1914 年 5 月 22 日、米国アラバマ州バーミングハム生まれ。本名は Herman Poole Blount、正式名は Le Sony'r Ra。30 年代から自己のトリオを結成して活動を始める。46 年にシカゴに移り、フレッチャー・ヘンダーソン楽団でピアニスト兼アレンジャーとして活動。出生名を放棄し、エジプトの太陽神にちなんでサン・ラーと名乗る。53 年に自ら率いる音楽集団＝“サン・ラ・アーケストラ”を結成。宇宙的で精神的な活動もプラスし精力的な活動を展開。54 年には自己のレーベル「サターン」を設立。古代エジプトの衣装や宇宙に触発された衣装を着たダンサーやミュージシャンもメンバーに従えるなど、個性的で革新的なライヴ・パフォーマンスで人気を博した。61 年ニューヨークに渡り、ジャズ・コンポーザーズ・ギルドの一員となる。70 年にはフィラデルフィアに移る。60 年代後半から 70 年代初頭にかけて、カリフォルニア大学バークレー校で「宇宙の黒人」という講義を行なう。74 年には自ら脚本・音楽・主演を務めた映画『サン・ラーのスペース・イズ・ザ・プレイス』が公開された。88 年に待望の来日を果たす。ジャズ作曲家、バンド・リーダー、ピアノ、シンセサイザー奏者、詩人、思想家として幅広く活躍し、数 10 枚のシングルと 100 を超えるフルアルバムをレコーディング。作曲数は 1000 曲位以上で、20 世紀で最も多作なレコーディング・アーティストの 1 人。1993 年 5 月 30 日死去。享年 79 歳。サン・ラー・アーケストラは、93 年にサン・ラーが亡くなった後も彼の遺志を引き継いで、サックス奏者マーシャル・アレン等を中心に現在も活動が続けられている。2020 年 10 月にはサン・ラ・アーケストラ名義で 21 年ぶりとなるニュー・アルバム『スワーリング』がリリースされた。

SR's Great Album

100 以上のアルバムをレコーディングし、1000 曲以上の楽曲を手掛けたサン・ラー。様々なユニットを率いて、時代毎に異なる一面や異なるサウンドを聴かせてくれている。

サン・ラーの初期の音源を収めた4枚組アルバム



ジ・アーリー・アルバムズ・コレクション：1957-1963

サン・ラー

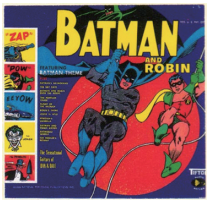
（Enlightenment Series：EN4CD9145）[Import CD]

サン・ラー (p, etc.)、他

[Disc 1] 1. ブレインヴィル（他、全 19 曲）[Disc 2] 1. インディア（他、全 19 曲）[Disc 3] 1. アワーズ・アフター（他、全 19 曲）[Disc 4] 1. キルケ（他、全 23 曲）

1957~1963 年まで、サン・ラーが 40 代の頃に発表した音源をまとめた作品。7 枚のアルバム『ジャズ・バイ・サン・ラー』『サウンド・オブ・ジョイ』『スーパー・ソニック・ジャズ』『インターステラー・ロウ・ウェイズ』『ジャズ・イン・シルエット』『ザ・フューチャリスティク・サウンズ・オブ・サン・ラー』『ホエン・サン・カムズ・アウト』の音源とシングル未発表曲を 4 枚組アルバムとして収録。計 80 曲、約 5 時間半に及ぶ豪華作品。

「バットマン」のサントラをカヴァーしたサン・ラーの異色作



バットマン＆ロビン

サン・ラー＆ブルース・プロジェクト

（DOL：DOL922HG）[Import LP]

サン・ラー、アル・クーパー (h-org, org)、ジミー・オーウェンズ (tp)、トム・マッキントッシュ (tb)、他

[Side-A] 1. バットマン・テーマ 2. バットマンズ・バットモラング（他、全 6 曲）[Side-B] 1. ロビンズ・テーマ（他、全 6 曲）

ムード音楽等を手掛けていたインディー・レーベル「Tifton」から 1966 年にリリースされた当時の人気 TV 番組「バットマン」のサントラをカヴァーした作品。サン・ラーとブルース・プロジェクトによるインスト・ロック・アルバムとして知る人ぞ知る作品で、サン・ラーとアル・クーパーがハモンド・オルガン＆オルガンを弾き、総勢 11 名のアーティスが参加。サン・ラー自身は公式アルバムとして含めたくはなかった可能性も感じられる。

サン・ラーの同名映画『スペース・イズ・ザ・プレイス』のサントラ盤

スペース・イズ・ザ・プレイス

サン・ラー＆ヒズ・インターギャラクティック・ソーラー・アーケストラ

（Evidence：ECD-22070）[Import CD]

サン・ラー (p, org, etc.)、ジューン・タイソン (vo)、他

1. イッツ・アフター・ジ・エンド・オブ・ザ・ワールド 2. アンダー・ディファレント・スターズ 3. ディサプリン 33 4. ワトゥサ（他、全 16 曲）

サン・ラーの同名映画『スペース・イズ・ザ・プレイス』のサウンドトラック盤。1972 年に SF で録音され、1993 年に CD 化されるまで陽の目を見なかった作品。プロデューサーはジェリー・ゴードン。ジューン・タイソンがヴォーカルで参加。映画制作のきっかけは 1971 年にカリフォルニア大学で「The Black Man in the Cosmos」コースを教えていたサン・ラーに映画のプロデューサーだったジム・ニューマンが注目したから。

サン・ラー日本降臨！

「地球は音楽なしでは動けない。地球は一定のリズム、サウンド、旋律で動く。音楽が止まれば、地球も止まり、地球上にあるものはすべて死ぬ」と語っていたサン・ラー。1988 年にサン・ラ・アーケストラを率いて待望の来日を果たす。「ライヴ・アンダー・ザ・スカイ」に登場した他、クラブ・クアトロのオープン記念公演を行い、8 月 8 日には新宿ピットインでライヴを行った。その時のライヴを収めた作品が『ライヴ・アット・ピット・イン、トウキョウ』。ジャケットに写る右手人差し指を上げて微笑むサン・ラーの表情にもインパクトがある。

『サン・ラーのスペース・イズ・ザ・プレイス』

2021 年 1 月 29 日よりアップリンク吉祥寺・新宿シネマカリテほかで順次公開されているサン・ラーが脚本・音楽・主演を務めた 1974 年製作のアメリカ映画『サン・ラーのスペース・イズ・ザ・プレイス』。監督はジョン・コニー。「地球人よ、さらば。太陽神の姿で出現した土星からの使者、超現実的宇宙音楽王サン・ラーが、地球人に鳴らす警鐘」というメッセージと共に、土星から降臨した宇宙音楽王、サン・ラーの革新的・暗黒 SF が、半世紀の時を経て、突如日本初公開が決定した。まだ体感していないジャズ＆音楽ファンは、お見逃しなく！

Jazz Standards（ジャズ名曲列伝） Vol.38

~ For Carl【フォー・カール】~

この曲は本誌由来のベースマン＝リロイ・ヴィネガーが、1958 年に自動車事故により 29 歳の若さでこの世を去った名ジャズ・ピアニスト＝カール・パーキンスを偲んで書いた曲。リロイの 2nd リーダー作『リロイ・ウォークス・アゲイン !!』に収録された哀愁たっぷりの名曲。2 人は盟友で、カールはリロイの 1st リーダー作『リロイ・ウォークス !』に参加し、リロイはカール生涯唯一のリーダー作『イントロデューシング・カール・パーキンス』に参加した。

★ この名曲が聴けるお薦めのアルバム

- リロイ・ヴィネガー 『リロイ・ウォークス・アゲイン !!』
- フィニアス・ニューボーン・ジュニア 『ワールド・オブ・ピアノ』
- 菅野邦彦 『フィンガー・ポッピング』
- ピート・ジョリー 『ハーブ・アルパート・プレゼンツ・ピート・ジョリー』
- レッド・ガーランド 『ザ・クォータ』